

【報告第1号】

令和元年度事業計画

〔基本方針〕

昨年は、「平成30年7月豪雨」の影響で、夏の観光シーズンに観光客が激減する事態となったが、「観光で岡山を元気に！」のキャッチフレーズで情報発信や県独自の宿泊クーポンの発行、国の「13府県ふっこう割」などの需要喚起策の実施により、秋ごろから持ち直してきたところである。

今年度は、この流れを継続させ、観光客数の増を図るため、7月から本県の強みであるフルーツにアートの要素も加えて観光キャンペーン（実施主体：晴れの国おかやま観光キャンペーン推進協議会）を展開しながら、次の3項目を重点事項として、体験型旅行商品の開発をはじめとした観光素材の充実、「岡山観光WEB」による情報発信や旅行会社等へのプロモーション活動など、積極的な誘客活動に取り組む。

〔重点事項〕

1 魅力ある観光素材の提供と商品化の促進

多様化する観光ニーズに対応し、観光消費額を増大させるため、専門家のアドバイスを得ながら観光素材の発掘・磨き上げを行うとともに、プラットフォームシステムや体験型商品販売サイトの活用、旅行会社等の視察招致や商談会の開催等を通じて、旅行商品の造成・販売を促進する。

2 多様な媒体を活用した情報発信

スマホへの対応度を高め全面リニューアルした「岡山観光WEB」を活用し、県内での宿泊を促進するとともに、旅行者が求める体験・アクティビティなどの滞在型観光やAI（人工知能）を活用したモデルコース等により周遊型観光を提案する。また、急増する外国人観光客への情報発信として、多言語サイトやSNSを活用し、国や地域のニーズを踏まえた効果的な情報発信を行う。

さらに、映画等のロケ地としての優位性を前面に打ち出した積極的な誘致活動を行い、映像を通じた本県の魅力発信と、ロケ地めぐりによる観光誘客に努める。

3 おもてなしの推進

来訪される観光客を温かく迎え、「岡山は良かった」「また来たい」と言われるよう、なお一層のおもてなし意識の向上を目指して、業界団体と協力して研修会を開催する。また、地元の人とのふれあいなどが魅力となり、観光客の満足度を高める観光ボランティアガイドの資質向上に努める。

令和元年度事業体系図

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 令和元年度 予算総額 144,399 千円 (167,458 千円) </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 誘客受入事業 81,014 千円 (76,599 千円) </div>	I	1	魅力ある観光素材の提供と商品化の促進	51,680	
			2	教育旅行の誘致	2,288	
			3	コンベンションの誘致	3,646	
			4	フィルムコミッション活動	14,711	
			5	広域観光の推進	2,485	
			6	イベント等を活用した誘客活動	3,452	
		誘客受入事業費合計				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 情報発信事業 54,437 千円 (82,565 千円) </div>	II	1	多様な媒体を活用した情報発信	44,994	
			2	総合的な観光案内業務の実施	7,069	
			3	観光コルトンの活用	1,867	
			4	おかやま観光特使	507	
		情報発信事業費合計				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 収益事業 1,846 千円 (1,790 千円) </div>	IV	1	「岡山観光 WEB」へのバナー掲出	644	
			2	観光コルトンへの広告掲出	1,202	
		収益事業費合計				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 法人管理 7,102 千円 (6,534 千円) </div>	法人の管理運営				7,102

() 内は前年度数字

[個別事業]

I 誘客受入事業

1 魅力ある観光素材の提供と商品化の促進

(1) 観光素材の発掘・磨き上げ

多様化する観光客のニーズに対応した魅力ある観光素材を提供するため、市町村・観光協会等との連携や、プラットフォームシステムの運営会社等のノウハウの活用により、観光素材の発掘・磨き上げに取り組む。

①プラットフォームシステムを活用した旅行商品化

新たな商品を開発するとともに、これまで開発してきた商品については更なる磨き上げを行い、魅力ある商品パッケージにし、観光販売システムズを活用して、全国の旅行会社へPRするとともに、インターネットを活用した個人への販路開拓にも努める。

併せて、精算等のノウハウについて研修を行うなど、プラットフォーム運営会社に頼らない商品の販売方法等について検討を行う。

②体験型観光商品の開発と情報発信

近年ニーズの高まっている体験型観光について、専用サイトを運営する事業者と連携して、本県ならではの体験素材の発掘・磨き上げを行い販売する。

(2) 商品造成

①旅行会社へのプロモーション活動

大都市圏を中心に旅行会社を訪問し、造成担当者へ観光素材集を用いた観光素材の紹介や助成事業等の施策を周知するほか、観光キャンペーンの新規素材等も紹介し、商品造成・情報発信を働きかける。

また、旅行会社や観光団体等が実施する説明会などにも積極的に参加し、プロモーション活動を行う。

②観光プレゼンテーション及び観光商談会の開催

主要都市（東京都、大阪市、名古屋市など）において、旅行会社等へ観光素材の魅力を効果的に情報発信する観光プレゼンテーションや、旅行会社の商品造成担当者と、本県の観光関係者（市町村・観光協会、旅館ホテ

ル、運輸、観光施設等)との商談会を開催する。

また、より一層充実した観光商談会となるよう、地元参加施設等が、旅行会社へ効果的なプレゼンを行えるようスキルアップを図るとともに、商談形式の改善にも取り組む。

③旅行会社等の視察招致

旅行会社の商品造成担当者等の現地視察・体験は商品造成に効果的であり、参加が得られやすいように日程やコースに、視察者の希望を最大限取り入れるオーダーメイド方式による視察招致に取り組む。

また、多くの誘客が見込める年金旅行の誘致に向け、信用金庫の担当者を対象としたファミツアーを実施する。

④旅行商品造成への助成

本県を対象とした旅行商品の造成を促進するためパンフレットの作成経費の一部を助成しているが、様々な旅行会社のニーズに対応できるよう助成方法の更なる改善を図る。

なお、観光キャンペーンの専用商品について、別枠を設けて造成促進に努める。

2 教育旅行の誘致

市町村・観光協会等で組織する「岡山県教育旅行誘致推進協議会（事務局当連盟）」を中心に、本県ならではの学習素材の発掘、磨き上げを進めるとともに、現在来県中の学校や来県の見込の高い学校及び関係旅行会社に対し、訪問等による誘致活動を実施する。

また、来日実績の多い台湾を対象とし、学校交流をはじめとした修学旅行などの誘致に取り組む。

(1) 訪問活動

①学校訪問

中学校・高校：東京都、愛知県ほか
小学校：大阪府、京都府ほか

②旅行会社等の訪問

学校訪問に合わせ、訪問地区の大手旅行会社や地元密着型の旅行会社へ情報提供を行うとともに、旅行会社から当該地域の学校のニーズなどにつ

いて情報収集を行う。

(2) 研修会等の開催

教育旅行の誘致方針などを協議するとともに、市町村や施設との情報共有を図るため、訪問活動に合わせてワーキンググループ会議を開催する。

また、教育旅行の関係機関や旅行会社等から講師を招き、教育旅行の実態とその動向等に関するセミナーを開催する。

(3) 台湾からの教育旅行誘致

学校交流の受入れ高校の確保に努めると共に、ビジットジャパン訪日教育旅行現地説明会に参加するなど、教育旅行の誘致に取り組む。

3 コンベンションの誘致

岡山市・倉敷市をはじめ県内市町村と連携を図り、情報収集に努めるほか、主要なMICE関係者に本県での開催を働きかける。

(1) 主要イベントでの誘致活動

全国規模のコンベンション等のキーパーソンへ、会場となる施設や観光素材等の様々な情報を提供するため、岡山市・倉敷市と連携して、東京で開催される「国際MICEエキスポ」へ出展する。

(2) 旅行会社MICE担当者等への情報提供

MICE実績のある大手旅行会社を訪問し、本県の施設情報やエキスカーションに必要な観光情報等を提供する。

4 フィルムコミッション活動

「岡山県フィルムコミッション協議会」の事務局として、ロケ撮影への協力を得られる施設等の開拓など受入体制の強化を図るとともに、映像制作会社等に対し、積極的なロケ誘致と支援を行う。

(1) ロケ支援とロケハン・ロケへの協力

ロケハンの同行やロケ誘致のための様々な支援を行う。

- ・ロケハンへの地元調整及び同行案内等の実施
- ・撮影スタッフの交通費や宿泊費の一部を助成

- ・「どーしたんだ！晴れの国」ロケ支援金
 - …ロケ期間中の雨天時に一定額を支援
- ・ロケ時の地元フィルムコミッションの炊出しに対する支援等

(2) ロケ誘致活動

映像制作会社等を対象とした各種イベントへの参加等を通じて本県でのロケを働きかける。

- ・JFC主催「全国ロケ地フェア」への出展
- ・在京制作会社等への訪問PR活動 など

(3) 研修会の開催

県内フィルムコミッション等のスキルアップを図るため、ロケ誘致の手法を修得する研修会を開催する。また、フィルムコミッション活動への理解を図るため、地元住民向けのフォーラムを開催する。

(4) 支援作品を活用した観光誘客

「岡山観光WEB」内に、ロケ支援を行った映画等の特集ページを作成し、「ロケ地めぐり」をテーマにした情報発信を行う。また、地域フィルムコミッションが行うロケ支援作品の公開イベントやロケ地マップの作成等に対し助成をする。

5 広域観光の推進

中国地域などの広域エリアを対象に、自治体や観光団体等と連携した、県境を越えた広域観光を促進する。

(1) 鳥取県との共同事業

鳥取県及び鳥取県観光連盟と協力し、両県への誘客を図る事業を実施する。

- ・東京アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」での誘客活動
- ・広域観光マップ「鳥取・岡山 drive map」更新 ほか

(2) 中国地域を対象とした広域観光事業

- ・日本観光振興協会中国支部事業
- ・中国地域観光推進協議会事業
- ・DISCOVER WEST 連携協議会事業

6 イベント等を活用した誘客活動

県内外で行われる観光イベント等へ参加し、観光宣伝活動を行う。

(主な予定)

- ・晴れの国おかやま観光プレゼンテーション（東京都、大阪市など）
- ・ツーリズムEXPOジャパン（大阪市）
- ・中四国9県観光展（大阪市）
- ・ふるさと全国県人会まつり（名古屋市） ほか

II 情報発信事業

1 多様な媒体を活用した情報発信

「岡山観光WEB」をはじめ、多言語観光サイト、SNS等を活用し、多様化するニーズに合わせた情報を効果的に発信しながら、滞在型観光や周遊型観光を促進する。

(1) インターネットを活用した情報発信

①岡山観光WEBによる情報発信

- ・旬の観光情報（開花、紅葉情報等）やタイムリーな特集ページ
- ・レポートや動画による体験・アクティビティ紹介と予約機能
- ・県内の宿泊施設紹介と宿泊プラン予約機能
- ・GPS機能を活用した観光スポットや宿泊施設の提案
- ・AI（人工知能）によるユーザーの嗜好やニーズに合わせたモデルコース
- ・旅行会社・マスコミ・学校向け情報と質の高い観光画像の提供
- ・専門家によるアクセス分析と集客対策 等

②SNSによる情報発信

本県への関心と来訪意欲が高いユーザーへ効果的にアプローチするため、伝播力の高いフェイスブックを活用し、最新の話題や季節を先取りした観光情報、地元ライターによる取材記事等を発信する。

(2) 多言語観光サイト等による情報発信

①観光情報の充実とプロモーション

東京五輪を控え、さらなる増加が見込まれる外国人観光客の来訪を促進

するため、国や地域の特性・ニーズに応じた観光情報を、英語、韓国語、中国語（簡体、繁体）、タイ語、フランス語、ドイツ語により発信する。また、本県の魅力を効果的に発信するため、訪日旅行者向け Web メディア等を活用し、ターゲットを絞ったプロモーションを実施する。

② SNS を活用した情報発信

県の海外 PR デスクとも連携し、SNS を活用して、英語、韓国語、中国語簡体字、中国語繁体字（台湾、香港）、タイ語、フランス語で、話題性のある観光スポットや、旅行者の関心が高い体験やグルメ等の情報を提供する。

(3) メディア等を活用した情報発信

① 首都圏等のメディアの取材招致

県と連携し、首都圏等のテレビや雑誌などへ積極的に取材招致を行い、多様なメディアを活用した情報発信を目指す。

② 地元メディアとの連携

岡山シティ FM（レディオモモ）と連携し、各地域のイベント関係者が直接情報を発信することにより、県内の観光を促進する。

番組名：朝刊ラジオ～元気！おかやま（月、水、金の「おでかけ情報」）

2 総合的な観光案内業務の実施

電話等での問い合わせに対して、観光案内のほか県内市町村などの各種観光パンフレットの送付等、観光情報の発信を一元的に行う。

また、おかやま観光コンベンション協会が運営する「ももたろう観光センター」と連携し広域観光案内業務の充実を図る。

3 観光コルトンの活用

本県の玄関口である JR 岡山駅前の地下道壁面に設置された電照パネル（22 面）に、市町村等と共同で美しい景観写真を掲示し、県内各観光地の PR を行う。

4 おかやま観光特使

岡山県ゆかりの方を観光特使に委嘱し、名刺の交付や定期的な観光情報を届けることにより、口コミによる観光 PR を進める。

Ⅲ おもてなしの推進

観光関係業界と連携した取り組みによるホスピタリティの向上と、ボランティアガイドの育成・活性化を図るなど、さらなるおもてなしの向上に取り組む。

1 研修会の開催等

①観光関係団体

観光関係団体と連携し、おもてなしについての研修会開催や資材作成等を行う。

- ・岡山県旅館ホテル生活衛生同業組合
- ・岡山県タクシー協会 ほか

②観光ボランティアガイド

観光地の魅力を増し、観光客の満足度を高める観光ボランティアガイドの育成と資質向上、活性化を図るため、連絡会議や研修会を開催する。

また、「岡山観光 WEB」でボランティアガイド団体の紹介等を行う。

2 観光事業功労者の表彰

本県の観光振興に寄与し、功労のあった方々を表彰する。

IV 協賛事業及び収益事業

1 協賛事業等

(1) 事業協賛金

連盟事業に対する協賛金を募る。(収入見込 800千円)

(2) 市町村等連携PR事業

市町村・観光協会等とタイアップして、特集ページを作成し、岡山観光WEBでコンテンツの充実を図る。(収入見込 2,008千円)

- ・掲載期間：3ヶ月～1年
- ・作成目標：10件

(3) 観光支援自動販売機寄付金

コカ・コーラボトラーズジャパン(株)と連携し、観光地などへ自動販売機を設置しているが、新たな設置候補地の情報を収集する。

(収入見込 2,000千円)

2 収益事業

(1) 「岡山観光WEB」へのバナー掲出

民間会員を中心に「岡山観光WEB」にバナー広告を募集し掲出を行う。

(売上目標 2,310千円)

(2) 観光コルトンへの広告掲出

市町村と共同で県内観光地の美しい景観をPRしている岡山駅前地下道の電照パネル(観光コルトン)22面について、広告収入を得て効率的な運営を行う。

今年度も、デザインを統一するため、麒麟ビール(株)の協力を得て実施する。(売上目標 1,080千円)